

昨年までやっていたことを、

なぜ、やろうとしなかった？

投票開始前の投票箱に何も入っていないことを確認する

ぜろひょうかくにん

零票確認



2月22日7時30分から“労働者（過半数）代表選挙”の投票が始まりました！

世間一般的に、最初に投票する有権者は「零票確認」をします。

これは、選挙の公正を保つため「投票箱に不正がないか」「投票箱が空の状態であること」を確かめるためです。

しかし、職場では「零票確認」を行う素振りがなかったため、選挙事務に尋ねたところ、衝撃的な返答をされました。



わからないことを聞いただけなのに。

- ✓ 選挙事務が全部やっているから、投票する一番最初の人はい関係ない！
- ✓ 選挙事務は我々がやっている。従ってください！
- ✓ 見たかったら見ればいいじゃん！
- ✓ 選挙事務を信用していないってこと。

総務部長名の掲示では「過半数代表選挙に関わる手続きは、客観性や公平性、公正性を担保する必要があり、会社の責任で行なっていく」ことが明記されています。

しかし、今回の「零票確認」をめぐる選挙事務の対応からは、その意志が微塵も感じられません！選挙事務の対応に不信感が募るばかりです！